



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <http://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長

(氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,703	6.8	775	15.1	831	15.3	681	70.6
2019年3月期	17,515	0.3	913	5.7	981	7.6	399	33.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	40.56		1.0	1.2	4.1
2019年3月期	22.94		0.6	1.4	5.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	69,333	67,872	97.9	4,100.90
2019年3月期	70,669	68,808	97.4	4,026.20

(参考) 自己資本 2020年3月期 67,872百万円 2019年3月期 68,808百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,849	298	2,541	39,494
2019年3月期	2,190	357	1,556	39,889

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		15.00		15.00	30.00	518	130.8	0.7
2020年3月期		15.00		15.00	30.00	500	74.0	0.7
2021年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00			

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響度合いの算定が現段階において困難であることから、未定としております。今後、合理的に算定可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	20,080,480 株	2019年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	2020年3月期	3,529,928 株	2019年3月期	2,990,408 株
期中平均株式数	2020年3月期	16,809,737 株	2019年3月期	17,423,793 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績当の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
<継続企業の前提に関する注記>	11
<持分法損益等>	11
<セグメント情報>	11
<1株当たり情報>	11
<重要な後発事象>	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しておりましたが、米中間の対立や英国のEU離脱などの問題に加え、世界的な広がりを見せる新型コロナウイルスが世界経済に与える影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況でありました。

このような経済情勢のもと、当社は、原材料の買い付けから、製造・販売に至るすべてを一貫して行う「パーティカル インテグレーション システム」の利点を活かし、品揃えを一層充実させるとともに、リフォームや修理など様々なニーズにお応えできる体制を強化し、お客様から信頼され、支持される店舗づくりに努めてまいりました。

その結果、売上高は18,703百万円（前期比6.8%増）となりました。利益面につきましては、営業利益が775百万円（前期比15.1%減）、経常利益が831百万円（前期比15.3%減）となりました。当期純利益は681百万円（前期比70.6%増）となり、前年同期と比較して282百万円増加しております。これは主に、前年同期に投資有価証券売却益332百万円、減損損失588百万円を計上した影響及び過年度に減損処理を行った固定資産を当期に売却したことに伴い課税所得が減少し、法人税、住民税及び事業税が減少した影響によるものです。

主要品目の販売実績は、ネックレス・ブレスレットは6,367百万円（前期比0.9%増）、指輪は5,912百万円（前期比4.3%減）、小物は2,947百万円（前期比0.4%増）であります。

店舗につきましては、ジュエリーツツミペリエ千葉店を新たに開設したほか、既存店5店舗のリニューアル及び11店舗の退店を実施いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の総資産は、69,333百万円となり、前事業年度末と比較して1,335百万円減少しております。これは主に、預け金が942百万円増加したものの、商品及び製品が702百万円、売掛金が416百万円、現金及び預金が394百万円、土地が210百万円、1年内回収予定の差入保証金が172百万円、差入保証金が111百万円、未収入金が97百万円減少したことによるものです。現金及び預金の減少は、主に自己株式の取得、法人税等及び配当金の支払によるものです。

負債の部は、1,461百万円となり、前事業年度末と比較して399百万円減少しております。これは主に、買掛金が101百万円増加したものの、未払法人税等が283百万円、未払費用が95百万円減少したことによるものです。未払法人税等の減少は、法人税等の支払によるものです。

純資産の部は、67,872百万円となり、前事業年度末と比較して936百万円減少しております。これは主に、利益剰余金が173百万円増加したものの、自己株式が1,074百万円増加したことによるものです。利益剰余金の増加は、配当金の支払に伴い減少したものの、当期純利益の計上に伴い増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び投資活動によりそれぞれ1,849百万円、298百万円の資金が得られ、財務活動により2,541百万円の資金を使用したことにより、前事業年度末に比べ394百万円減少し、39,494百万円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により得られた資金は1,849百万円となり、前年同期と比べ341百万円の減少となりました。これは主に、前年同期において、税引前当期純利益を734百万円、内、減損損失を588百万円、投資有価証券売却益を332百万円計上し、売上債権の増加64百万円、たな卸資産の減少1,282百万円があったことに対し、当事業年度において、税引前当期純利益を784百万円、内、減損損失を62百万円、投資有価証券売却益を27百万円計上し、売上債権の減少433百万円、たな卸資産の減少721百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により得られた資金は298百万円となり、前年同期と比べ59百万円の減少となりました。これは主に、前年同期と比べ有形固定資産の売却による収入が128百万円、差入保証金の回収による収入が189百万円それぞれ増加し、投資有価証券の売却による収入が470百万円減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動により使用した資金は2,541百万円となり、前年同期と比べ985百万円の増加となりました。これは主に、前年同期と比べ自己株式取得のための預託金が928百万円増加したことによるものです。

当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	97.4	97.4	97.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.0	45.5	41.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

ここ数年の米中間の対立や英国のEU離脱などにより従来の世界経済の枠組みの変更が余儀なくされていたところ、今般の新型コロナウイルスの拡大がその進展を急加速しています。

その結果、原材料である貴金属や宝石等の価格が大きく変動することが予想されます。

また、わが国経済も先行き不透明な状況が続くと思われ、今後消費者心理が一層不安定になり、ジュエリーやアクセサリ等に対する需要が減少する可能性があります。

このような経済情勢のもと、当社は、引き続き幅広い層へのブランディングに注力するとともに、お客様にご満足いただけるジュエリーやアクセサリ等を企画・開発し、お客様の気づいておられないニーズにも応えられるような提案ができる社員を教育研修し、魅力溢れる店舗づくりに全力で取り組んでまいり所存であります。

なお、新型コロナウイルスの拡大を受け、2020年4月7日に政府から緊急事態宣言が発令されたこと及び4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大されたことにより、店舗の休業が発生しております。今後、緊急事態宣言対象地域の縮小により、店舗の営業再開が段階的に実施されることが見込まれますが、新型コロナウイルスの拡大による影響度合いの算定が現段階において困難であることから、次期の業績予想を未定としております。今後、合理的に算定可能となった時点で、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,889	39,494
受取手形	44	26
売掛金	1,140	724
商品及び製品	13,611	12,908
仕掛品	372	412
原材料及び貯蔵品	1,875	1,816
前払費用	45	42
その他	379	1,145
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	57,351	56,564
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,687	4,541
減価償却累計額	△3,988	△3,885
建物 (純額)	699	656
構築物	62	63
減価償却累計額	△60	△60
構築物 (純額)	2	2
機械及び装置	158	159
減価償却累計額	△134	△141
機械及び装置 (純額)	23	18
車両運搬具	13	9
減価償却累計額	△13	△9
車両運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	1,093	1,117
減価償却累計額	△892	△920
工具、器具及び備品 (純額)	200	197
土地	7,695	7,484
建設仮勘定	49	101
有形固定資産合計	8,670	8,460
無形固定資産		
借地権	152	152
ソフトウェア	277	205
その他	43	0
無形固定資産合計	472	358
投資その他の資産		
投資有価証券	125	54
関係会社株式	33	58
出資金	1	1
関係会社長期貸付金	77	—
前払年金費用	171	176
繰延税金資産	161	166
差入保証金	3,455	3,344
その他	149	149
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	4,174	3,950
固定資産合計	13,317	12,769
資産合計	70,669	69,333

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175	276
未払金	70	26
未払費用	519	423
未払法人税等	400	117
前受金	37	37
預り金	60	17
賞与引当金	191	195
その他	232	190
流動負債合計	1,688	1,284
固定負債		
役員退職慰労引当金	129	134
その他	43	41
固定負債合計	172	176
負債合計	1,861	1,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金		
資本準備金	15,707	15,707
資本剰余金合計	15,707	15,707
利益剰余金		
利益準備金	600	600
その他利益剰余金		
別途積立金	45,610	45,610
繰越利益剰余金	814	987
利益剰余金合計	47,024	47,197
自己株式	△7,059	△8,133
株主資本合計	68,770	67,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	37	2
評価・換算差額等合計	37	2
純資産合計	68,808	67,872
負債純資産合計	70,669	69,333

(2) 損益計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	17,515	18,703
売上原価		
製品期首たな卸高	14,585	13,611
当期製品製造原価	7,321	9,110
合計	21,906	22,721
他勘定振替高	102	34
製品期末たな卸高	13,611	12,908
原材料評価損	0	0
製品売上原価	8,192	9,779
売上総利益	9,322	8,924
販売費及び一般管理費	8,409	8,148
営業利益	913	775
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	7	1
為替差益	0	—
受取家賃	58	58
その他	17	13
営業外収益合計	88	78
営業外費用		
支払手数料	20	22
その他	0	0
営業外費用合計	20	22
経常利益	981	831
特別利益		
固定資産売却益	—	19
投資有価証券売却益	332	27
受取保険金	—	13
受取補償金	17	32
特別利益合計	350	93
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	5	0
投資有価証券評価損	1	1
減損損失	588	62
関係会社債権放棄損	—	75
特別損失合計	596	140
税引前当期純利益	734	784
法人税、住民税及び事業税	334	95
法人税等調整額	0	6
法人税等合計	335	102
当期純利益	399	681

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	13,098	15,707	600	45,610	940	△6,059	69,897
当期変動額							
剰余金の配当					△526		△526
当期純利益					399		399
自己株式の取得						△999	△999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	-	-	-	△126	△999	△1,126
当期末残高	13,098	15,707	600	45,610	814	△7,059	68,770

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	267	70,164
当期変動額		
剰余金の配当		△526
当期純利益		399
自己株式の取得		△999
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△230	△230
当期変動額合計	△230	△1,356
当期末残高	37	68,808

当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本						自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	13,098	15,707	600	45,610	814	△7,059	68,770	
当期変動額								
剰余金の配当					△508		△508	
当期純利益					681		681	
自己株式の取得						△1,074	△1,074	
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	173	△1,074	△900	
当期末残高	13,098	15,707	600	45,610	987	△8,133	67,869	

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	37	68,808
当期変動額		
剰余金の配当		△508
当期純利益		681
自己株式の取得		△1,074
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△35	△35
当期変動額合計	△35	△936
当期末残高	2	67,872

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	734	784
減価償却費	354	292
減損損失	588	62
差入保証金償却額	4	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	5
受取利息及び受取配当金	△12	△6
受取保険金	—	△13
受取補償金	—	△32
投資有価証券売却損益 (△は益)	△332	△27
為替差損益 (△は益)	△0	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	1
固定資産除却損	5	0
固定資産売却損益 (△は益)	0	△18
関係会社債権放棄損	—	75
売上債権の増減額 (△は増加)	△64	433
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,282	721
仕入債務の増減額 (△は減少)	29	101
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17	△22
その他	2	△130
小計	2,577	2,239
利息及び配当金の受取額	12	6
保険金の受取額	—	13
補償金の受取額	—	49
法人税等の支払額	△399	△460
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,190	1,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	522	52
有形固定資産の取得による支出	△181	△141
有形固定資産の売却による収入	1	130
無形固定資産の取得による支出	△63	△24
関係会社株式の取得による支出	△20	△25
貸付金の回収による収入	2	2
差入保証金の差入による支出	△65	△39
差入保証金の回収による収入	175	364
その他	△11	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	357	298
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,017	△1,092
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	△13	△941
配当金の支払額	△526	△508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,556	△2,541
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	991	△394
現金及び現金同等物の期首残高	38,898	39,889
現金及び現金同等物の期末残高	39,889	39,494

(5) 財務諸表に関する注記事項

〈継続企業の前提に関する注記〉

該当事項はありません。

〈持分法損益等〉

前事業年度、当事業年度のいずれにおいても、該当事項はありません。

〈セグメント情報〉

当社の事業内容は、指輪、ネックレス・ブレスレット、小物等の宝飾品の製造とその販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、前事業年度、当事業年度のいずれにおいても記載を省略しております。

〈1株当たり情報〉

	前事業年度 (自 2018年4月 1日) (至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月 1日) (至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	4,026円20銭	4,100円90銭
1株当たり当期純利益金額	22円94銭	40円56銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月 1日) (至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月 1日) (至 2020年3月31日)
当期純利益金額 (百万円)	399	681
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額 (百万円)	399	681
期中平均株式数 (千株)	17,423	16,809

〈重要な後発事象〉

該当事項はありません。